

平成 30 年度 ・ 自己評価表 (保育士)

フルタイム勤務保育士 14 名の集計であり、担当する業務により「該当しない (×)」が生じる。

A : よく出来ている B : ほぼ出来ている C : 努力が必要 × : 該当しない

	評 価 事 項	A	B	C	×
保 育 観	・ 日頃から「保育所保育指針」を読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしている。	1/14	6/14	7/14	
	・ 個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしている。	10/14	4/14		
	・ 一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができる。	1/14	9/14	3/14	1/14
保 育 の 内 容	・ 子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握し、月・週・日案などを作成している。	1/14	6/14	4/14	3/14
	・ 季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画の中にとりいれるようにしている。		8/14	3/14	3/14
	・ 複数担任の場合、毎日のブリーフィングで保育に必要な情報交換をしている。	7/14	6/14		1/14
三 歳 未 満 児	・ 着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしている。	4/14	4/14	2/14	4/14
	・ 「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受けとめ、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしている。	2/14	8/14		4/14
	・ 探索活動が十分できるよう、安全に気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できる。	2/14	7/14	1/14	4/14
	・ 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですべることが第一に考えている。	5/14	3/14	2/14	4/14
	・ 散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、こどもとともに自然物や動物への興味や関心を持つことを大切にしている。	6/14	3/14	1/14	4/14
	・ 子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感している。	5/14	5/14		4/14

三 歳 以 上 児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って指導している。 		2/14	3/14	9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係をつくる努力をしている。 	1/14	4/14		9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少しでも普段と違う、具合の悪そうな子どもに気付いたら、自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけている。 	1/14	4/14		9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天気の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように言葉をかけている。 		2/14	3/14	9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の喧嘩やぶつかり合いを、友達を知る機会や、社会性が育つ過程として受けとめ、その育ちを見守ることができる。 	1/14	3/14	1/14	9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身につけられるよう努力している。 		3/14	2/14	9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができる。 		5/14		9/14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して明確な言葉ではっきりと制止している。 	1/14	3/14	1/14	9/14